

21世紀を
人権の世紀に
しよう!

きずな



発行元:四国中央市人権教育協議会 〒799-0497 四国中央市三島宮川4-6-55
電話:0896-28-6028 E-mail:jinkyoo@city.shikokuchuo.ehime.jp

人権ポスター

作 川之江北中学校 1年 伊藤 千夏 さん
(令和3年度2年)



作者からのメッセージ

私たちが住んでいるこの愛媛県にも感染が少しずつ広がっているコロナウイルス。このウイルスのせいで、一時、外出を自粛しないといけなくなりました。そして、緊急事態宣言が解除した今でも、遠くの家族、友だちに会えない人々がいます。そんな人たちに、相手といくら離れていても、いつも心はつながっていて、その心を大切にしておいてほしいとこのポスターを描きました。いち早くコロナウイルスが収まって、世界が笑顔で溢れますように願っています。

今月の 主な記事

- 1ページ 人権ポスター
- 2~3ページ 川之江ワン&オンリーの会の活動を通して
- 4ページ 人権標語・編集室から

人権標語

ありのまま	個性があるから	輝ける	進藤 ゆかり
大人と子ども	男と女	命の重さは	みな同じ
支え合う	辛い時こそ	真の友	長野 美鈴
ありがとう	その一言で	笑顔さく	真鍋 愛
まってるよ	君の一声	広がる笑顔	三谷 崇
言われると	誰でも嬉しい	ふわふわ言葉	大西 悦子
秘めている	あなたの勇氣	明るい未来	石川 新二
思いやり	あなたとつなぐ	架け橋を	篠永 洋子

編集室から

「正しい」って難しい。私は、大人になるにつれ、そう感じるようになりました。例えば「親切」です。

大学生のとき、市内電車でお年寄りに席を譲ろうと声をかけました。その方は「次降りるので大丈夫です。」と言われましたが、親切はいいことだと「ぜひどうぞ。」と半ば強引に譲ったことがあります。振り返れば、自分本位で迷惑だったのではないかと思えます。また、私たちは、あまりにも多くの情報に日々触れるため「正しさ」を問わず分かりやすい情報を信じてしまいがちになったように感じます。

そのような中、「自分事で考える」ことが大切だと思えます。現在のコロナ禍においても、正義の第三者となり、悪意はなくても他人を非難してしまっているケースを見聞きするようになりまし。その時、なぜそのようなことをするのだから？と多くの方は感じると思えます。しかし、「もし自分の身近であつたら・・・」と考えていないと、気づかないうちに自分もしてしまうことがあるのではないのでしょうか。

自分事で考えたとしても、時には間違えるかもしれません。しかし、みんなが自分事で考え行動すれば、お互いが尊重される暮らしやすい社会に近づくのではないかと思います。

(Y・K)

家族で回覧して下さい